

# 応募呼ぶ求人発信術

農家以外に「分かりやすく」

JA高知県が2020年から運営する、県内の農家・農業法人の求人情報サイト「あぐりマッチこうち」。就業場所や就労時間、賃金に加え、作業中の写真や動画の掲載を基本とします。運動靴より長靴がよい、はさみを使うかもしれないといった、農家なら当たり前前のことも「農業に関わりがない人には文章の説明だけでは分からない」(JA農業所得増大対策室)ためです。

動画はJAが撮影するか、同じ

ような作業の動画を用意します。服装については、長袖推奨、軍手やタオル、帽子は持参など細かく説明。作業内容にもJAが注釈を入れて分かりやすくします。ハウス新ショウガの掘り取り・芽切り作業の場合、「掘り取り作業＝ショウガを掘り取っていく」「芽切り作業＝掘り取ったショウガの芽を切ってコンテナに詰めていく」といった具合です。

JAによると、想像していた作業と実際の作業のギャップが大

きいと、採用まで結び付きにくいといいます。このため「分かりやすさを心掛けている」(同)とい

いで、そうすることで応募後の面接で作業を説明する手間も減ったと効果を実感しています。

同県香南市で温州ミカン31aを栽培する農家は、同サイトを利用して短期アルバイト2人を雇



写真や動画を掲載して分かりやすく仕事内容を伝えるJA高知県運営の「あぐりマッチこうち」のサイト

用。収穫作業時に使うはさみや脚立、圃場(ほじょう)の写真を掲載しました。「人手不足の中、仕事を頑張ってくれる人が来てくれて助かった」と話しています。

(日本農業新聞 2022年3月29日)

## 農業技術ピックアップ

### イネごま葉枯病抵抗性水稻品種

#### 「みえのゆめBSL」の育成

「みえのゆめ」は令和元年度の三重県内作付面積が約850haで、「コシヒカリ」「キヌヒカリ」に次ぐ作付規模第3位的水稻品種です。「コシヒカリ」よりも熟期が10日程度遅いため、作期分散可能な品種ですが、イネごま葉枯病に弱いことが生産拡大の制限要因となっていました。そこで県では、「みえのゆめ」にごま葉枯病抵抗性を付与した品種「みえのゆめBSL」を育成しました。「BSL」はBrown Spot resistance Line(ごま葉枯病抵抗性系統)

の略です。

本品種は「みえのゆめ」よりごま葉枯病抵抗性が強く(抵抗性程度“強”)、「みえのゆめ」でごま葉枯病が多発する条件で栽培

図 ごま葉枯病検定圃場での発生病度(2017年9月8日撮影)



みえのゆめBSL

した結果、「みえのゆめ」より約3割多収となりました。ごま葉枯病抵抗性以外の生育、収量(ごま葉枯病少発条件下)、品質、食味などの特性は同等であるため、「みえのゆめ」と同様の栽培管理手法が適用できます。なお、本品種のごま葉枯病抵抗性は病気への感染を完全に防ぐものではなく、感染した病気の進展



みえのゆめ

を抑えるように働きます。そのため、ごま葉枯病が多発する地域では農業防除が適宜必要です。

県内では令和4年度より、「みえのゆめ」から本品種へと全面的に品種が切り替わります。「みえのゆめ品種群」として産地品種銘柄が設定されており、収穫したお米は従来品種と同様に「みえのゆめ」として流通、販売されます。

#### お問い合わせ先

伊賀農業研究室  
☎0595-37-0211  
生産技術研究室 農産研究課  
☎0598-42-6359  
中央農業改良普及センター  
☎0598-42-6323

▼このコーナーは、三重県農業研究所の「研究成果情報」に基づき制作し、県内に広く研究成果を紹介します。

農業を営むすべての方に

# 農業経営資金

当初3年  
最大  
1%

農業者の皆さまを応援するため  
JAバンク利子補給制度で金利負担を軽減します。

【取扱期間】2022年1月1日～2023年3月31日

詳しくはお近くのJAバンクまでお問い合わせください。

JAバンク  
三重県下JA/JA三重信連

トラクター・ドローン  
などの農業機械購入

生産管理システム  
などの先進技術導入

農地購入

農業運転資金

栽培用ハウス  
・畜舎建設

その他農業経営に  
必要な資金

農業経営に必要な資金として  
幅広～く  
ご利用いただけます